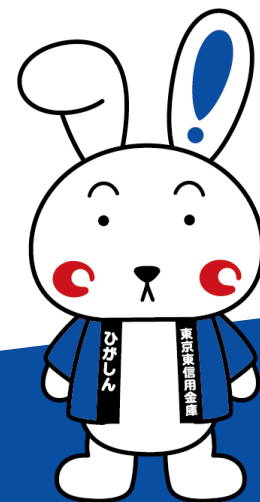


夢を夢で終わらせない信用金庫

令和4年3月期「金融仲介機能のベンチマークについて」

経営企画室



I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

共通ベンチマーク

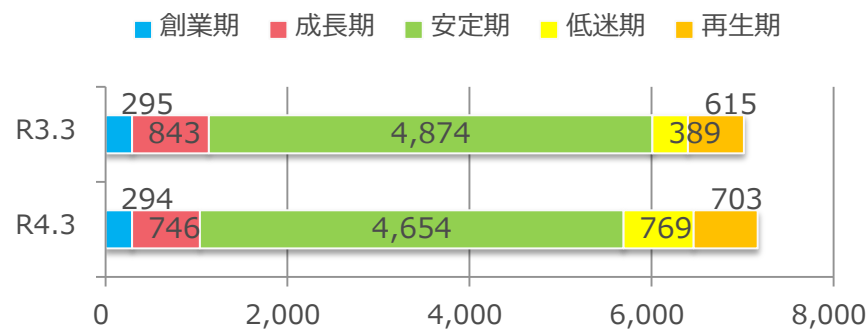
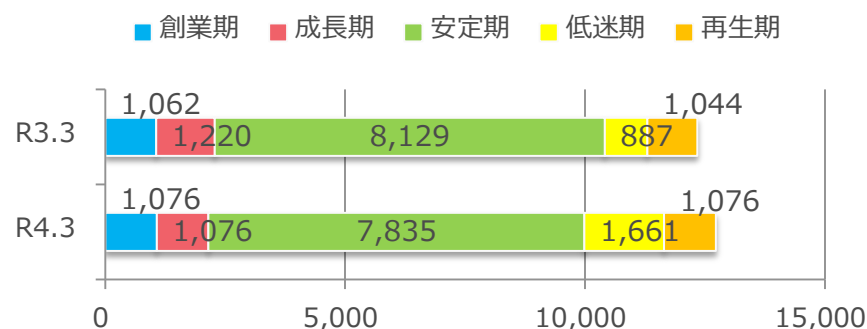
ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）および融資残高

ライフステージ別の与信先数

[単位：先]

ライフステージ融資残高

[単位：億円]



[単位：先、億円]

		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	R3.3	12,342	1,062	1,220	8,129	887	1,044
	R4.3	12,724	1,076	1,076	7,835	1,661	1,076
	増減	382	14	△ 144	△ 294	774	32
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	R3.3	7,016	295	843	4,874	389	615
	R4.3	7,166	294	746	4,654	769	703
	増減	150	△ 1	△ 97	△ 220	380	88

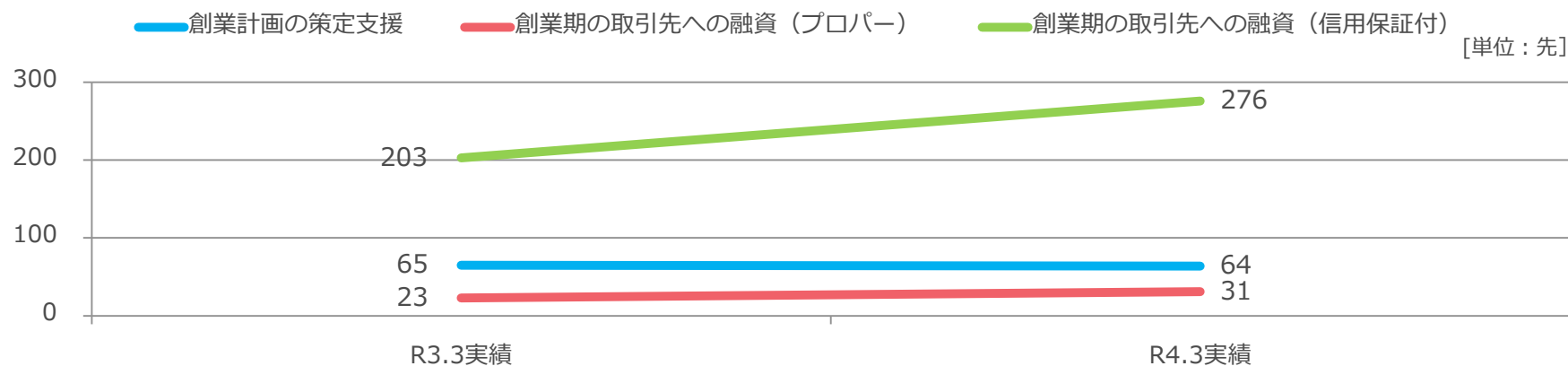
コロナ禍で先行きが見通しにくいなか、低迷期の事業者の先数が増加いたしました。
該当先へ事業継続のため資金繰り支援を継続したため、低迷期の残高は増加しております。



①創業期：新事業開拓を目指す取引先企業への支援

選択ベンチマーク

創業支援先数（支援内容別）



[単位：先]

		策定支援①	融資支援② (プロパー)	融資支援③ (信用保証付)
創業支援件数（支援内容別）	R3.3	65	23	203
	R4.3	64	31	276
	増減	△ 1	8	73

コロナ禍におけるまん延防止措置など活動制限があったなか、お客さまに寄り添う対応を心掛けた結果、融資先数は増加しております。



②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

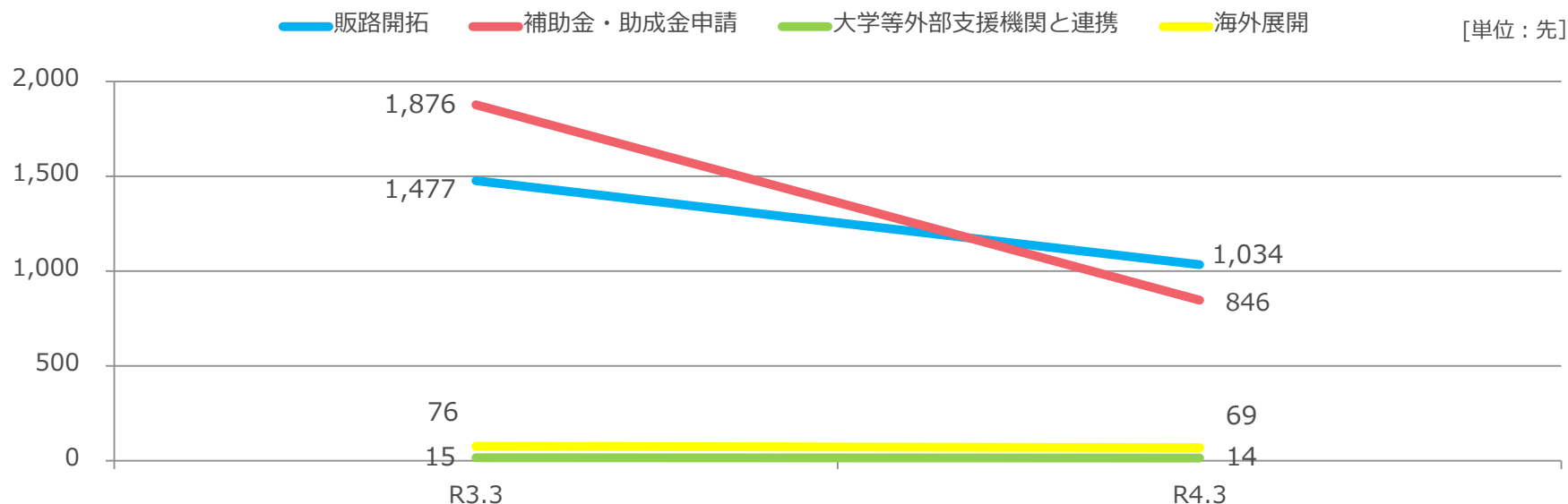
独自ベンチマーク

販路開拓支援を行った先数

補助金・助成金申請支援先数

大学等、外部支援機関と連携したものづくり支援先数

海外展開支援先数



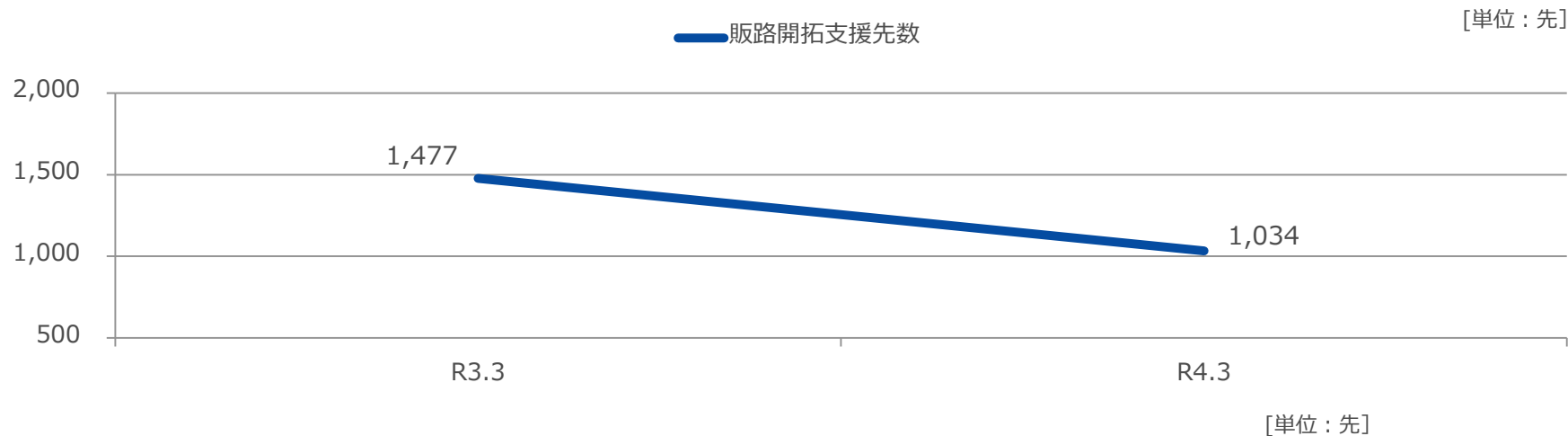
ひがしんでは、さらなる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援を充実させております。



②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク

販路開拓支援を行った先数



		先数
販路開拓支援を行った先数 (販路開拓相談・ビジネスマッチング)	R3.3	1,477
	R4.3	1,034
	増減	△ 443

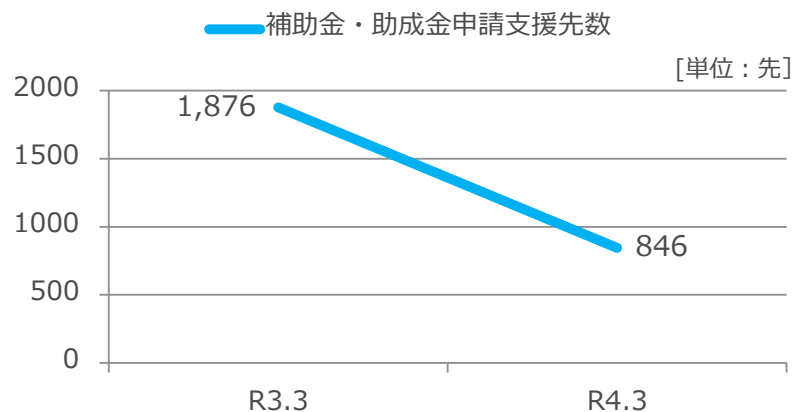
令和3年度は、前年に引き続きオンラインビジネスフェアを開催しております。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた小売先に対する支援のためECサイトにおける物販に特化したため、出展企業数が減少し、支援先数も減少しております。



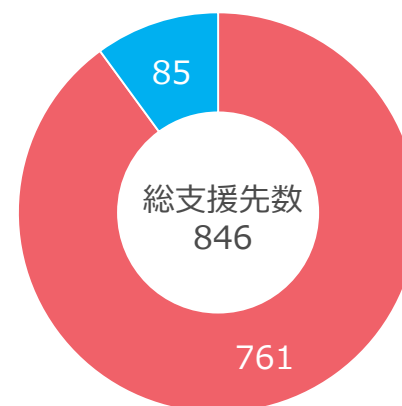
②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク

補助金・助成金申請支援先数



■新型コロナウイルス感染症関連 ■コロナ関連以外 [単位：先]



[単位：先]

		先数
補助金・助成金申請支援先数	R3.3	1,876
	R4.3	846
	増減	△ 1,030

[単位：先]

補助金・助成金申請支援先数(内訳)	全先	846
	新型コロナウイルス感染症関連除く	85

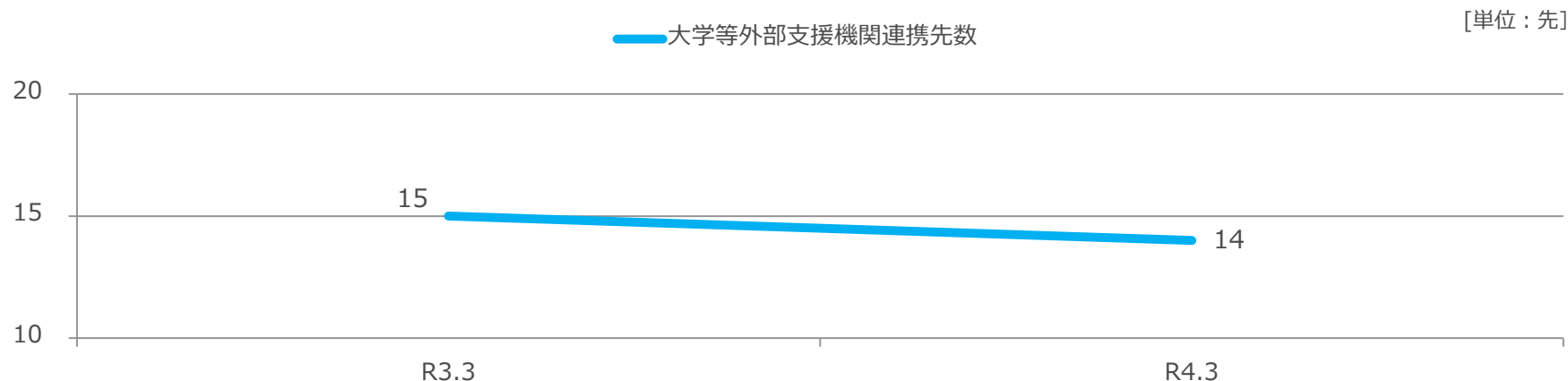
令和3年度は、前年に比べ持続化給付金などのコロナ対策関連の支援制度が少なくなったため、大幅に減少しております。



②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク

大学等、外部支援機関と連携したものづくり支援先数



		先数
大学等、外部支援機関と連携した ものづくり支援先数	R3.3	15
	R4.3	14
	増減	△ 1

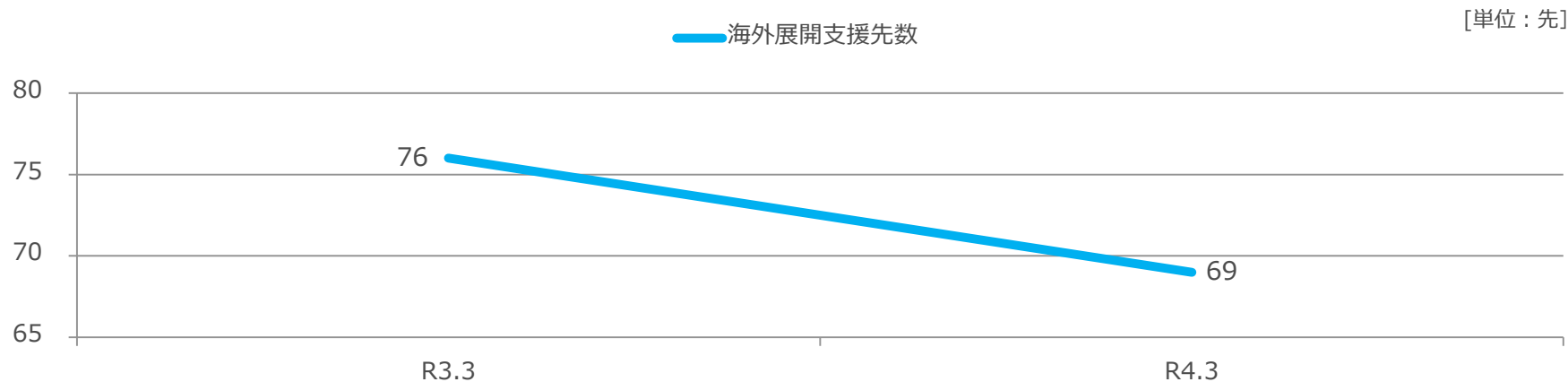
コロナ対策関連に相談が集まり、その他の相談数は減少傾向になっております。新型コロナウイルス収束を見据え、ものづくり企業をはじめとした技術相談についても大学や外部機関と連携しながら積極的に対応していきます。



②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク

海外展開支援先数



		先数
海外展開支援先数	R3.3	76
	R4.3	69
	増減	△ 7

渡航制限や海外進出の見直しなどの影響で海外展開支援先数は減少しております。海外展開支援においても、新型コロナウイルス収束を見据え「ひがしんバンクデスク」や外部機関と連携しながら積極的に行なっていきます。



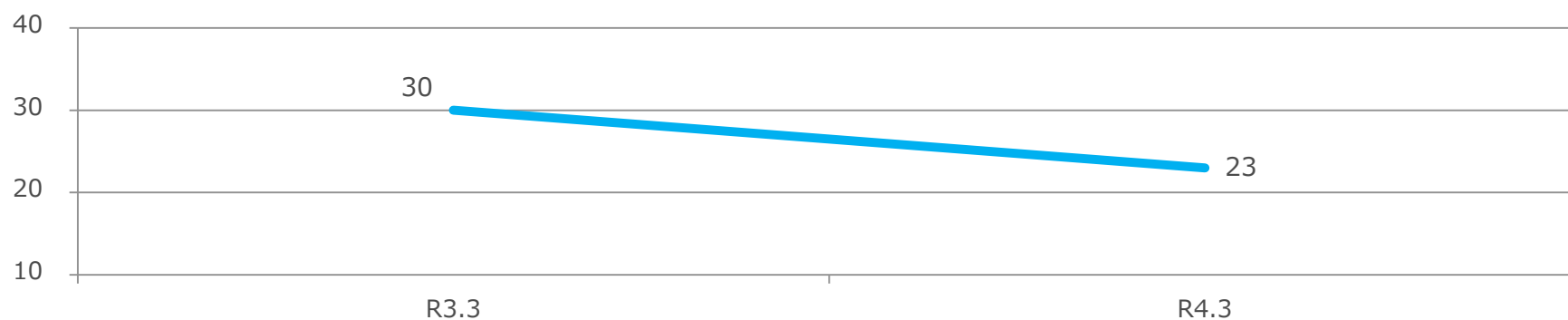
②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク

販路開拓に係る広域連携活動における連携先数

販路開拓に係る広域連携活動における連携先数

[単位：先]



		先数
販路開拓に係る広域連携活動における連携先数	R3.3	30
	R4.3	23
	増減	△ 7

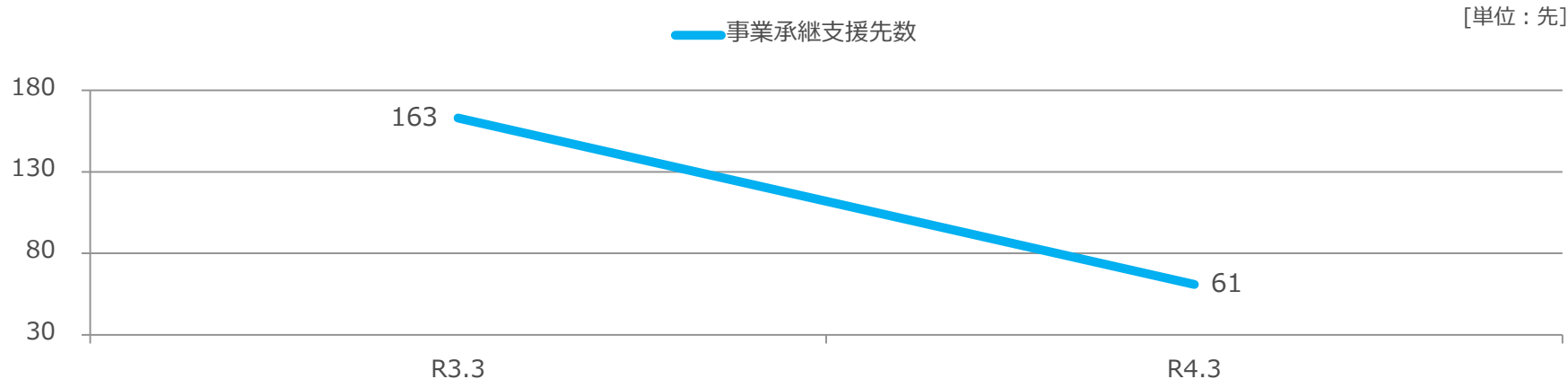
ECサイトにおける物販に特化したため出展者数が減少した令和3年度「ひがしんビジネスフェア」においても、地方の信用金庫のお客さまに出展いただくなど販路拡大の場を創出しました。



②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

選択ベンチマーク

事業承継支援先数



		先数
事業承継支援先数	R3.3	163
	R4.3	61
	増減	△ 102

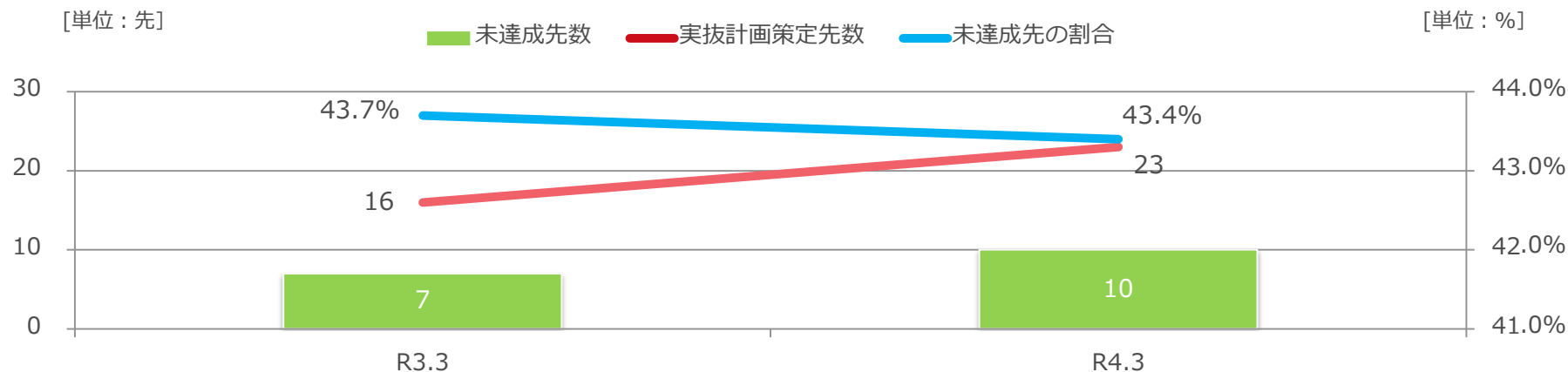
令和3年度は事業計画の策定支援を中心に行ないました。ひがしんでは、お客さまの事業承継や諸問題の課題解決に向けたサポートに引き続き積極的に取り組んでいきます。



③低迷期・再生期：経営改善や事業再生・業種転換が必要な取引先企業への支援

選択ベンチマーク

事業再生支援先における実抜計画策定先数および同計画策定先のうち未達成先の割合



[単位：先・％]

		実抜計画策定先数 ①	未達成先数 ②	未達成先の割合 ②／①
事業再生支援先における実抜計画策定先数 および同計画策定先のうち未達成先の割合	R3.3	16	7	43.7%
	R4.3	23	10	43.4%
	増減	7	3	△ 0.3ポイント

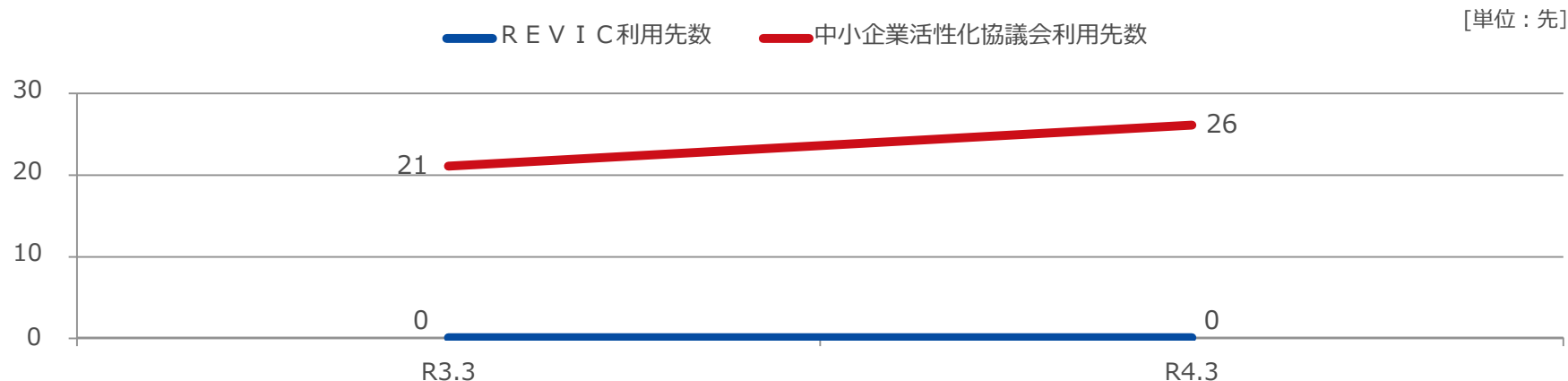
未達成先の割合がやや減少いたしました。事業再生支援先の経営改善計画書策定支援および進捗状況把握について、着実な対応を行い、支援を充実していきます。



③低迷期・再生期：経営改善や事業再生・業種転換が必要な取引先企業への支援

選択ベンチマーク

REVIC、中小企業活性化協議会の利用先数



[単位：先]

		先数
REVIC利用先数	R3.3	0
	R4.3	0
	増減	0
中小企業活性化協議会利用先数	R3.3	21
	R4.3	26
	増減	5

(株)地域経済活性化支援機構（REVIC）は再生支援先の業種や規模等もあり、対象案件がありませんでした。中小企業活性化協議会は5先増加しております。
今後もお客さまに最適な支援策を検討・提供し、事業再生をお手伝いします。



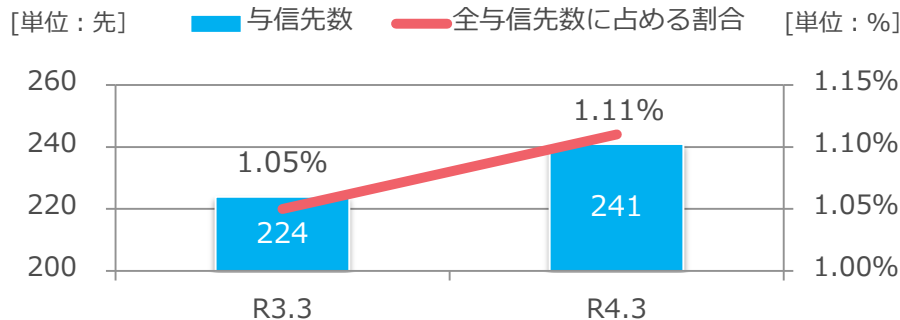
2. 事業性評価に向けた取組み

①お客さまの事業内容や成長可能性を評価した融資への転換

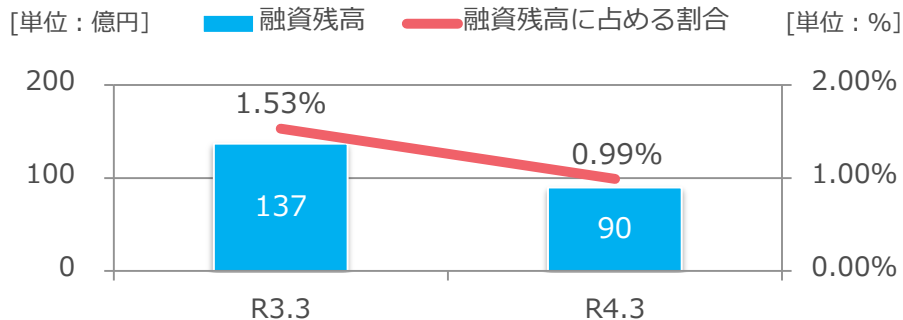
共通ベンチマーク

金融機関が事業性評価に基づき新規融資を行った与信先数および融資残高
当該計数における全与信先数および全融資残高に占める割合

事業性評価に基づく融資の与信先数と割合



事業性評価に基づく融資の融資残高と割合



		与信先数 (先)		融資残高 (億円)	
		R3.3	R4.3	R3.3	R4.3
事業性評価に基づき新規融資を行った 与信先数および融資残高	R3.3	224		137	
	R4.3	241		90	
	増減	17		△ 47	
上記計数における全与信先数に占める割合 および全与信先の融資残高に占める割合		与信先数の割合 (%)		融資残高の割合 (%)	
		R3.3	R4.3	R3.3	R4.3
		1.05	1.11	1.53	0.99
	増減	0.06 _※		△ 0.54 _※	

事業性評価を活用しお客さまの課題解決策の提案を推進しております。そのため新規融資を行った先数は増加しました。令和3年度は、1件当たりの取扱金額が小口化したため、融資残高は減少しております。お客さまの成長可能性を的確に把握し、積極的な融資でお応えします。

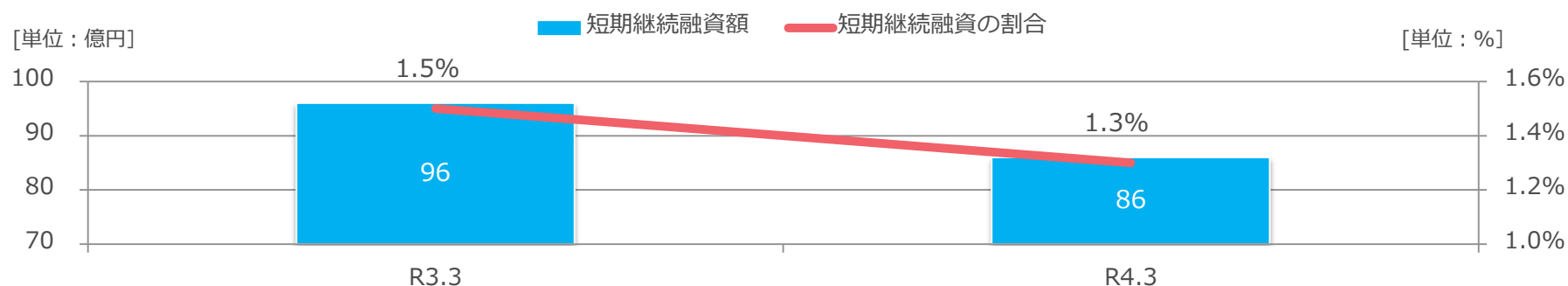


②顧客ニーズに基づいたサービスの提供

選択ベンチマーク

運転資金に占める短期継続融資の割合

短期継続融資残高および運転資金に占める割合



[単位：億円、%]

		運転資金 残高①	短期継続 融資残高②	②／①
運転資金に占める短期継続融資の割合	R3.3	6,074	96	1.5%
	R4.3	6,148	86	1.3%
	増減	74	△ 10	△ 0.2%

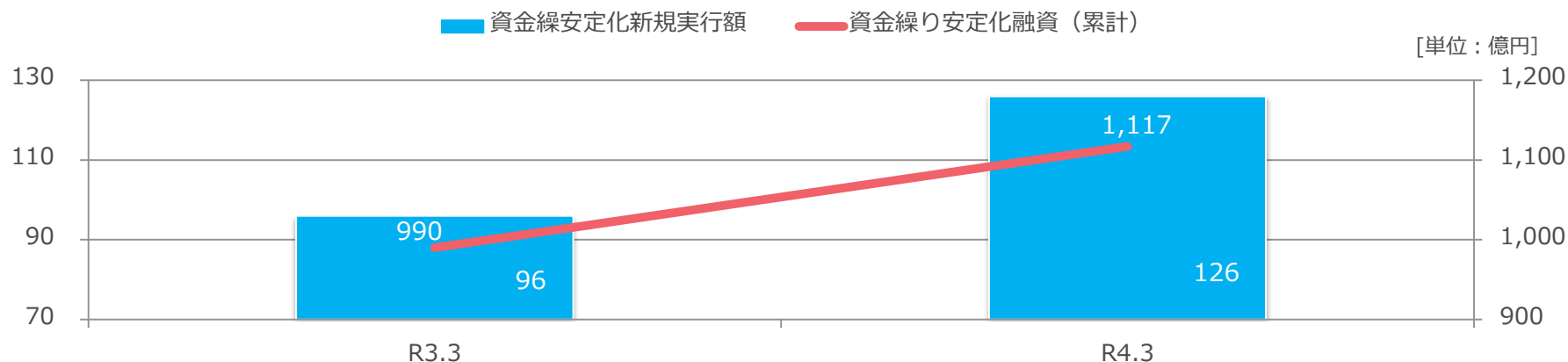
短期継続融資は、経常運転資金において期日到来時に借換を行うことを前提とした融資で、お客さまの資金繰りを支援いたします。



②顧客ニーズに基づいたサービスの提供

独自ベンチマーク

資金繰安定化融資の新規実行額の推移



[単位：億円]

		資金繰り安定化 融資残高（累計）	資金繰安定化 新規実行額
資金繰安定化融資新規実行額の推移	R3.3	990	96
	R4.3	1,117	126
	増減	127	30

前年対比で残高・新規実行額ともに増加となりました。

「資金繰安定化融資」により既存借入金の一化に運転資金を追加することや、他行の借換えも含めて経営改善などを目的に、お客さまの資金繰りの安定を図ります。

